



ナース★アクション

vol.22

2024.11.12

全日本民医連
職員育成部

憲法でアクション！！ケアこそ未来を切り拓く

<https://kirarikango.com/>

調査を背景に、行政等との粘り強い懇談が重要

引き続き各地でナースアクションが取り組まれています

奈良



医師・看護師の増員を求める奈良県実行委員会は、2007年から毎年行っている「看護職員の労働・健康実態調査」のまとめの説明と、看護職養成校の状況や、実際の看護現場のリアルな様子をお伝えし、県の予算編成に反映させるため、県知事あての要請書を提出しました。奈良では医労連はじめ県下に幅広く呼び掛けて要請を繰り返しており、今回は県内13% (2,185名)の看護職員が調査に回答しています。結果、2012年からの13年間の調査の中でも状況が厳しくなって（いつも辞めたいと思っている21.9%等）いることが分かりました。

今回の懇談は、行政が「お聞きしました」で終わるのではなく、90分間にわたって調査内容や現場の声に耳を傾けていただき、①「奈良県看護師がいきいきと働きつづけられるための実効策検討委員会」は継続し、困難は予測されるが、奈良県の看護師がいきいきと働きつづけられるためには出された提言を実現させていくことが必要。②看護師をめぐる人が少子化の影響以上に減っている。その中で看護体験は必要。③専修学校はより厳しい。物価高騰もふまえて運営費補助は増額を検討中。④訪看のハラスメント対策では、防犯ブザー（事業所への通報機能付き）補助など、なんらかの具体策は必要など、認識の共有、実現するための意見交換としては「少し」進んだという感触があります。実態を可視化し、繰り返し現場の様子を伝えていくことは、とても大切であると実感する懇談となりました。

福岡



9月28日(土)に博多駅筑紫口で「安心して医療・介護が受けられるよう医師・看護師・介護士ふやせ！大宣伝行動～ケア労働者増員のビッグウェーブを起こそう～」を行い、医師・看護師・介護士など110名が参加しました。リレートーク、シール投票、ビラ配布など多彩な取り組みを行い、署名105筆(医師20、看護45、介護40)を集めるなど、地域に訴える貴重な機会として大きく成功しました。



和歌山

「高等教育無償化を求める請願署名」に引き続き取り組んでいます。組合職員活動交流集会和生協まつり、介護の日「11月11日」行動で市民にアピールしました。「学費ほんまに高いなー」「がんばれよ」と応援の声もたくさんいただき、これからも引き続き取り組んでいきます

和歌山生協病院看護部長 林 李果

大阪



「2024年全国看護学生アンケート調査の結果」の説明や高等教育無償化に向けて大阪府看護協会との懇談が実現しました。弘川会長からは「今日は現場の実態、学生の声を聞かせていただきよかった。こういった調査をしていることは知らなかった。(無償化について)様々な団体がそれぞれのやり方で取り組みを進めていると思うが、現場の声を聞きながら看護協会としても同じ目標を持っていけたらと思う。こちらの会議でも引き続き議論していきたい。」と、初めて聞く話もあったようで時折驚かれていた表情が印象的でした。

